

学校だより 第219号(6-2)

令和6年5月1日

け や き

櫻



横浜市立永田中学校
横浜市南区永田みなみ台7-1
TEL045-715-5511

どうして人は、学ぶのか

校長 山岸 隆夫

新年度がはじまり1か月が過ぎました。新1年生のみなさんも少しずつ中学校生活になじんできたように感じます。ゴールデンウィークで少し緊張をゆるめてリラックスすることができると良いと思います。

さて先日の全校朝会で、次のようなお話をしました。

新学期を迎え、きっと皆さん、今年は頑張るぞと意欲が高まっていることと思います。「でもどうして勉強しなければならないのか」と疑問に思ったことは、皆さん経験したことがあるのではないのでしょうか。

この世界には学校があり、受験という制度があり、そこにはどうしても競争が入り込んできます。学校に入ると、そこでテストや授業や課題といった形で、やらなければならないものとして「勉強」が現れます。

しかし一方で、学校の勉強とは違う形で、勉強の原型、あるいは「学ぶ」ということに、幼い時に出会っているのではないかと思います。自分の関心が引き付けられたことや好きなこと、スポーツや趣味、アニメやゲーム、今でいう「推し」であったり、そうしたことはきっと皆さん、どんどんと知りたくなり、時間を忘れてまで没頭することがあったと思います。

生物学者で青山学院大学の福岡伸一教授は、昆虫に魅了され、昆虫図鑑に没頭し、昆虫採集が高じて、山登りも好きになったそうです。山登りの楽しさは、苦しい思いをしながら一歩ずつ着実に登り、とうとう頂上に立った時、そこでしか見えない光景に出会えることです。

これは学ぶ事と同じことではないかと、たとえています。学習をコツコツやる、苦しい練習を継続する、新しい知識や考え方を習得する。このような学ぶ行為を私たちは絶えず、行っています。なぜ、勉強しなければならないのか。どうして実生活にほとんど役に立たないような、用語や年号を覚えなければならないのか。それは、苦勞して勉強することが、自分を新しい世界に運び上げ、そこからしか見えないもの、その過程を通してしか体験できないことを教えてくれるからです。

勉強する意義には、もう一つ重要なポイントがあります。それは自由になるためです。自由になるとは、私たちが縛っているものから抜け出すことです。偏った考え方や、最近ではネットの中にあふれる間違っただ様な情報です。「本当の意味で真実と偽物を見分ける、正しいことと間違っただけを見分ける、そうした選択ができるようになるためです」と福岡さんは言っています。自分の生活を豊かにするためには、努力した成果を味わい、間違っただ情報に振り回されることなく自由に生活できたらよいと思いませんか。自分を高めていけるのは自分自身です。昨年の自分より一歩進んだ今年の自分を作っていきます。

